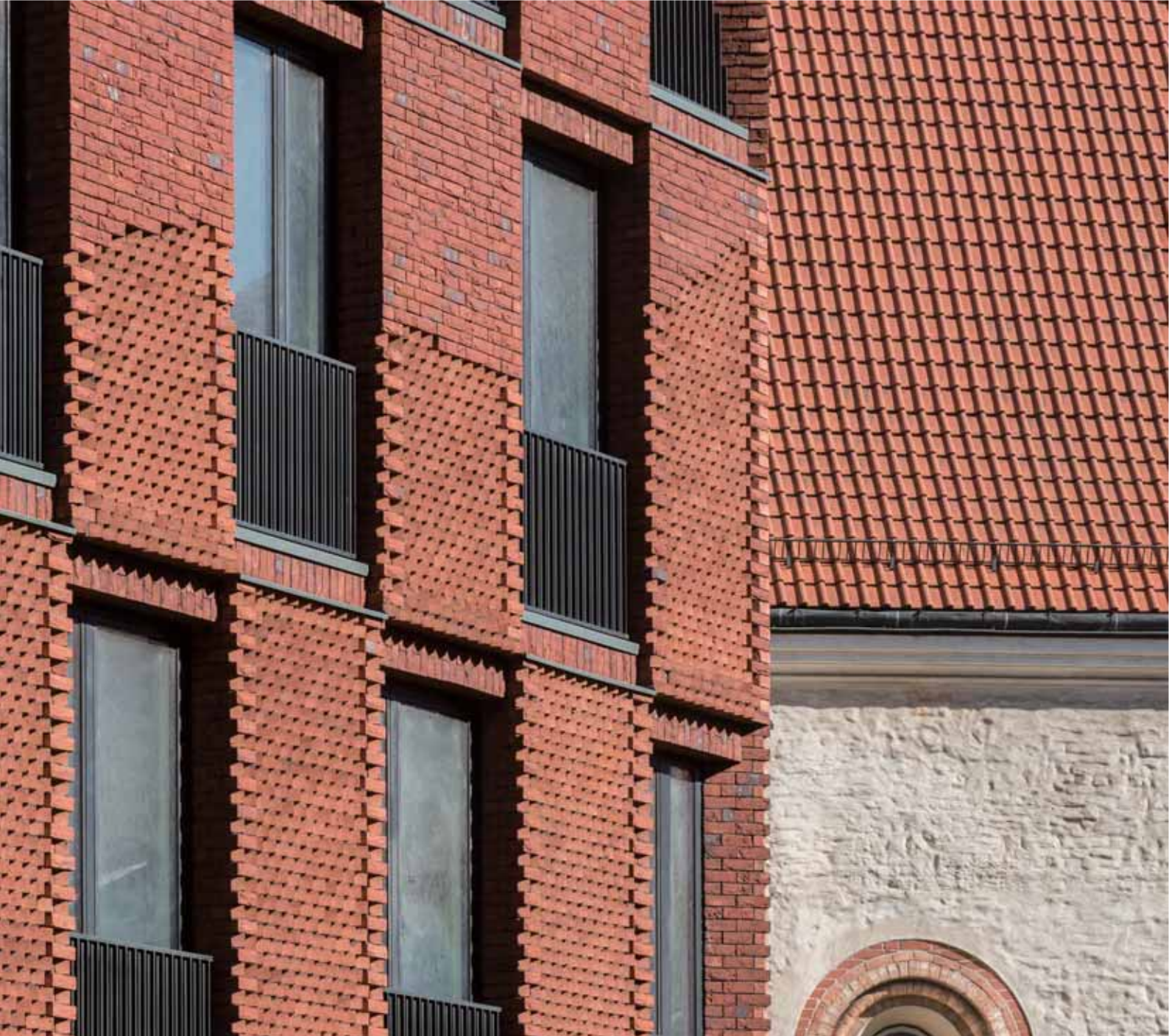




Latvia

ARCHITECTURE AT CONVERGENCE

ラトビア、融合の建築

2017.4.7-4.27

入場無料

10:30-16:30

土日開館、4/8 は 19:30 まで延長

東京工業大学博物館

百年記念館 1 階 “T-POT”

アクセス：〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1
東急目黒線・大井町線大岡山駅下車徒歩 1 分
東京工業大学大岡山キャンパス・正門脇
お問合せ：03-5734-3340 <http://www.cent.titech.ac.jp>



本展覧会はラトビアの現代建築を特集した a+u 2016 年 12 月号「ラトヴィア 建築の表出」(16:12 Feature: Latvia Architecture Unfolding) の関連企画です。特集のために録り下ろされた写真を多く使用しながら、新たなコンセプトで企画・構成されています。

本展覧会では、ラトビア、とりわけリガの建築を形作り、そのユニークな特徴をつくり出した複合的背景の一端をご紹介します。北ヨーロッパのバルト海に面するラトビアは、地理上の交差点に位置し、1,000 年以上にわたって政治、商業、社会における多様な要素が交錯する場所です。次々に流入する多くの文化的潮流もまた、ラトビアに深く根付く伝統と溶け合っています。こうした状況は豊かで多様なラトビアの建築に映し出されており、本展が掲げる「融合」というコンセプトによっても的確に言い表されるでしょう。

シンポジウム “Architecture at Convergence”

4 月 8 日 (土) 15:00 18:00 (14:30 開場) 参加無料・先着約 120 名

会場：東京工業大学博物館・百年記念館 3 階 フェライト記念会議室

講演 1 Uldis Lukševics (建築家、NRJA)

講演 2 藤田康仁 (建築史学者、東京工業大学)

ディスカッション

Uldis Lukševics (建築家、NRJA)

Dr. Arch. Ilze Paklone (建築家、本展キュレーター、a+u 2016 年 12 月号ゲストエディター)

Dace Penke (建築家、ラトビア大使館)

塚本由晴 (建築家、アトリエ・ワン、東京工業大学)

藤田康仁 (建築史学者、東京工業大学)

使用言語：日本語・英語 (同時通訳有)

主催：駐日ラトビア共和国大使館

共催：東京工業大学博物館、東京工業大学環境・社会理工学院建築学系

株式会社エー・アンド・ユー

Photo by Shinkenichiku-sha.